

序

平成24年度における当センターの事業については、関係機関の御支援・御協力をいただきながら取り組みをすすめてきた結果、計画した事業のすべてについて円滑に実施することができました。その概要について申し上げますと、はじめに、調査事業においては、延べ21遺跡の発掘調査と報告書作成のため整理作業を実施し、3冊の発掘調査報告書を刊行いたしました。

本県における近年の発掘調査の傾向は、県公共事業の減少が引き続き見られ、国による新直轄事業の高速交通網整備に伴う事業もピークをむかえたことから、今後予想される高速道路の県境部分の整備や県の公共事業等の事業量を的確に把握しつつ、調査体制の整備に努めていかなければなりません。また、私どもの重要な施策である埋蔵文化財保護の重要性の周知や、埋蔵文化財を通して古代の人との心の交流の場を県民の皆さんに提供する事業については、引き続き県民の皆さんの目線に留意しながら、責任ある発掘調査を基本とした調査研究に取り組んでまいります。

次に、普及啓発事業につきましては、ホームページでの情報発信や調査遺跡における発掘調査説明会の開催、広報誌「埋文やまがた」の刊行などを通して、埋蔵文化財の調査研究の成果を県民の皆さまにお知らせしてまいりました。

今年度は、昨年度に引き続き、普及啓発事業実行委員が中心となり、さまざまな普及啓発事業を計画、実施してまいりました。中でも、遺跡発掘体験、体験講座、遺跡見学と3回にわたり開催した「ふるさと考古学講座」では、考古学の面白さや古代人の知恵や工夫に触れる機会をもつことができ、多数の参加者の方々から満足いく内容であったという声を頂くことができました。特に夏に実施した体験講座は、上山城30周年記念事業とのタイアップ企画として開催されました。上市市・上山城管理公社との共催でおこなったもので、「上山よいとこ再発見」と題し、特別展示や公開講座もあわせて実施され、好評を得ることができました。平成20年度から開催している「山形県埋蔵文化財センター参観デー」は、内容を充実しながら、企画展示、センターの業務内容の紹介、勾玉作り、整理作業などの考古学体験を実施したところ多くの来場者がありました。

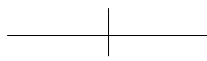
また、山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館との共同展示や、山形空港ビル・山形県障がい者保養所東紅苑での「出前展示」を行い、県民の皆さんに出土品を公開し、当センターの事業への理解や文化財保護の重要性について広く普及を図ったところです。

さらに、学校現場からの依頼を受けた「出前授業」は24校で実施したほか、職員を派遣しての講演や調査研究発表等を実施してまいりました。

最後に、平成24年4月1日より「公益財団法人」として新たなスタートを切った「山形県埋蔵文化財センター」ですが、「公益」という言葉の重みを職員一人ひとりが胸に刻み、次世代を担う子供達を中心に、地域の伝統文化の大切さや、誇りと自信の持てる地域づくりの一環として、さまざまな機会を活用して、県民共有の文化遺産としての価値ある埋蔵文化財を後世に伝えていくため、職員一同、一層研鑽を重ねていく所存であります。

平成25年3月31日

公益財団法人 山形県埋蔵文化財センター
理事長 相馬 周一郎



目 次

I. 管理運営概要

1. 沿 革	5
2. 組 織	
(1) 役員及び評議員	5
(2) 職制及び人員	6
(3) 組 織	6
(4) 職 員	7
3. 施 設	8

II. 事業概要

1. 調査業務	9
(1) 調査遺跡一覧	10
(2) 調査遺跡の概要	
山形城三の丸跡 第10次	12
山形城三の丸跡 第11次	16
山形城三の丸跡 第12次	19
蔵増宮田遺跡	20
馳上遺跡 第4次	22
馳上遺跡 第5次・西谷地b遺跡 第3次	24
森の原遺跡 第3次	27
八反遺跡 第2次	28
蟬田遺跡	32
田向2遺跡 第2次	36
清水西遺跡	38
押出遺跡 第5次	42
2. 普及・啓発・研究等業務	
(1) 研修等	
①全国埋蔵文化財法人連絡協議会事業への派遣	46
②埋蔵文化財担当者専門研修への派遣	46
(2) 普及啓発	
①普及啓発実行委員	47
②センター公開事業	47
③ふるさと考古学講座	48
④研修講座	49
⑤外部展示	49
⑥学校への協力	50
⑦来所者	51

